

曾於市立中谷小学校だより

令和4年 2月15日

# な か た に 2月

## 最善を尽くすことの大切さ

校長 柳野 竜生

今、北京冬季オリンピック真っ最中で、連日感動的なニュースが伝わってきています。皆様も御存知のように、特にショッキングな出来事が2つありました。

まず、男女各2人の計4人で争う新種目「ノルディックスキー・ジャンプの混合団体での高梨沙羅選手の一回目ジャンプ後の出来事」です。1人目に跳んだ高梨選手が103メートルの大ジャンプを跳び喜んだのも束の間、なんと抜き打ち検査でのスーツ規定違反によりまさかの失格となりました。太もも部分が規定寸法の最大許容差（女子は体からプラス2～4センチ）より2センチ大きかったと判断されたそうです。結局、4チーム計5選手がスーツ規定違反とされて失格となる異例の大会となりました。

次に、「フィギュアスケート男子に出場した羽生結弦選手のショートプログラムでの出来事」です。演技冒頭の一回目ジャンプ部分で、なんと氷の穴にはまるというとても珍しいアクシデントに見舞われ、思うような結果を出せなかったことです。

しかし、この二人のすごさは、想像を絶するかなりのショックと動揺がある中、気持ちを立て直し、今できる最善を尽くしたことです。

高梨選手は、金メダルを期待されていたチームのことを思い、泣き崩れた後での2回目のジャンプ挑戦。とてもまともに跳べるような精神状態ではなかったと思われましたが、2回目で98・5メートルのジャンプを見せました。感情を抑えきれずに手で顔を覆い、ランディングゾーンで泣き崩れた姿などを見ると、胸が締め付けられる思いでした。

94年ぶりのオリンピック3連覇を狙っていた羽生選手はショートプログラムで、まさかの8位となり、現実的には金メダルが大変厳しい状況に追い込まれました。さほど表情にこそ表してはいませんが、ショックはかなり大きかったと思われます。羽生選手も今できる最善を尽くして、フリー演技の最初のジャンプでこれまでまだ誰も跳んだことがない4回転半ジャンプ・クウッドアクセルに挑戦しました。おしくも転倒となりましたが、4位に順位を上げました。

残念ながらどんなに努力し、練習しても、肝心の本番で思わぬアクシデントに見舞われ、思うような結果が出せないことはあります。むしろ、成功するより失敗の方が多いのが、現実かもしれません。ですが、絶対にあきらめず、最後まで今できる「最善を尽くすことの大切さ」を、2人のアスリートが教えてくれたように思います。中谷っ子も、今できる「最善を尽くす」ことができる人に成長してほしいと思います。

### 3月の主な行事予定

- 2日(水) 縄跳び大会 学級PTA PTA全体会
- 4日(金) 第3回学校評議員会、いじめ防止対策委員会
- 8日(火) 修学旅行(～9日) 休養措置日(10日)
- 9日(水) ふれあい給食
- 10日(木) さんぺい号
- 15日(火) クラブ活動(2年生見学)
- 18日(金) 卒業式予行練習
- 23日(水) 卒業式準備 ノーメディアで親子読書の日
- 24日(木) 第72回卒業式
- 25日(金) 修了式 離任式 ※校区・PTA送別会は未定



## 目標の達成に向けて

3学期が始まり1ヶ月あまりがたちましたが子どもたちの様子はどうでしょうか。3学期の始業式では、児童を代表し、4年生の田中愛萌さんが、冬休みに目標を立てて、読書に取り組んだことを話してくれました。また、校長先生から、3学期が一番短い学期だが、目標をもって頑張してほしいという話がありました。3学期は気を抜いているとあっという間に過ぎてしまいます。1年間のまとめの学期、そして次の学年への準備の学期として充実したものになるよう、1月に立てた各自の目標を達成できるようにこれからも頑張ってください。



## 特認校制度における体験入学

1月20日(木)から1月21日(金)までの2日間において、特認校制度における体験入学を実施しました。今年度は、20日、21日の2日間、6年生の女子児童が、体験に来てくれました。最初は少し緊張しているようでしたが、一緒に勉強したり遊んだりする中で、少しずつ慣れてきて笑顔が見られるようになり楽しく過ごすことができました。スポーツが得意な児童で、昼休みにはみんなでドッジボールを楽しむ姿も見られました。2日間という短い時間でしたが、中谷小のよさは伝わったと思います。在校生にとっても貴重な体験になりました。



中谷小学校では、特認校制度を実施しております。特認校制度の申込みについては、2月28日までとなっております。中谷小に興味のあられる方は、中谷小学校まで、御連絡ください。また、特認校制度に関しては、曾於市教育委員会までお問合せください。

中谷小学校(72-1108) 曾於市教育委員会(099-482-5957)

## 学校給食週間の取組

1月24日から1月30日までは、全国学校給食週間でした。それに合わせて、「かごしまを丸ごと味わう給食」、「そおgood給食」として特別な献立が設定され、鹿児島県の郷土料理や鹿児島県や曾於市の食材を使った料理が提供されました。

また、この期間にふれあい給食が実施され、財部学校給食センターの栄養教諭の先生が、給食の歴史や学校給食週間のことについて話してくださいました。子どもたちも給食の歴史について知ることができて、貴重な時間となりました。そして、ふれあい給食の最後に、子どもたちを代表して5年の下川幸朝さんが、学校給食センターへ感謝の手紙を送りました。これからも生産、学校給食センター、保護者の皆様に感謝しておいしく給食を頂いてほしいです。

